



報道関係者 各位

令和元年6月27日（木）

【照会先】

労働基準部安全課

安全課長 西田 吉治

主任安全専門官 濱田 勉

電話 052(972)0255

「危なさ向きあおう」巡航高度で推進中！

～ 「危なさ向きあおう Action100 in 愛知」推進状況を発表 ～

愛知労働局（局長 高崎真一）は、本年1月から集中的に取り組んでいる「危なさ向きあおう Action100 in 愛知」のキャッチフレーズで実施しているリスクアセスメントのセミナー開催状況と参加事業場数（6月25日現在）を公表します。

年間100回以上の開催を目標としているリスクアセスメントセミナーは、6月25日現在で、製造業向けに46回、建設業向けに12回などのほか、第三次産業向けにも8回開催し、延べ参加事業場数は1万事業場を超えている。

➤ 「危なさ向きあおう」とは

国際的な安全の定義（「許容できないリスクがないこと」）に沿って、作業に関わるハザード（危険源）を整理して、リスク（危なさ）と正しく向き合おうと、愛知労働局が提唱している運動です。

国際的な定義に沿って、危なさ向きあおうことを前面に据え実施しているのは全国で唯一の取組みです。

➤ 生産性の向上や働き方改革にも応用可能

リスクアセスメントの一連のプロセスにおいて、事業場で行われる作業を網羅的に把握することが可能となり、ハザードにかかわる作業そのものを廃止（「本質安全化」といいます。）する検討もできます。

無駄な作業を取捨選択する機会が生じることにより、働き方改革という「職場における作業の棚卸」など、層別が可能となります。



セミナー実施回数

(令和元年6月25日現在)

	製造業	建設業	道路貨物 運送業	第三次 産業	左記以外	合計	延べ参加 事業場数
愛知労働局 実施分	5	5	0	2	4	16	4,046
労働基準監督署 実施分	41	7	6	6	1	61	6,824
合計	46	12	6	8	5	77	10,870